



6月18・19日(土日)

U-11トレセン

選考会における課題と  
修正点について

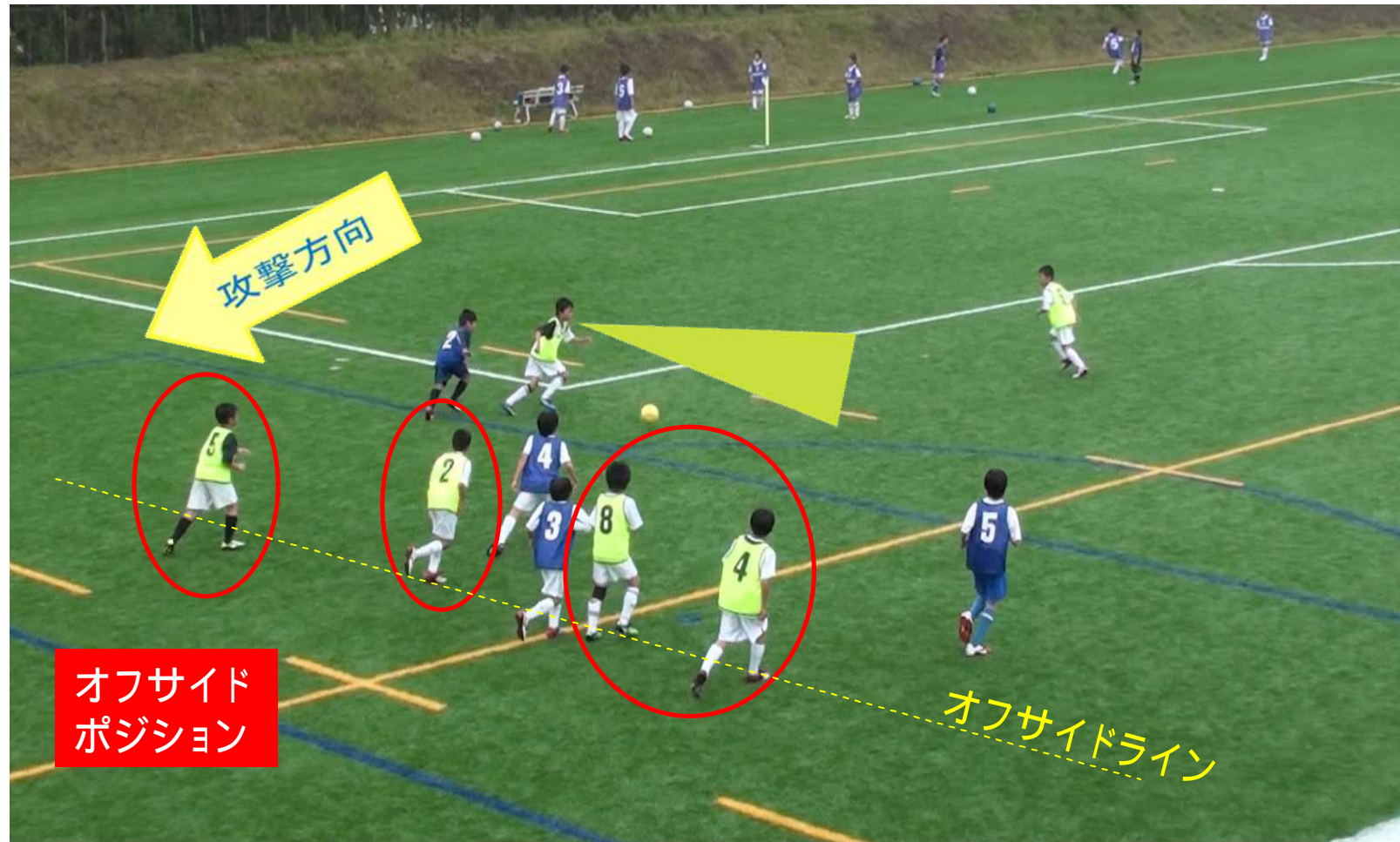


# 課題

- 攻守において、周りを観る、観ておくということが出来ていない選手が大多数であった。
- 観ていない選手が多いために、意図をもったプレーが少ない。自分とボールとの関係しかないために、味方・相手を観ての判断を伴ったプレーが出来ない。
- これらのために、ボールを簡単に失うプレーがとても多い。
- それに伴い、クロスの場合でも、パワーを持って、狙いを持って飛びこんで行く選手は観られなかった。

# 課題と修正点

- まず、観る、観ておく。ここを最優先事項としてトレーニングしていく。この事により観るためにポジショニングの改善、意図をもったプレーが出来るようになると思われる。
- 観る事の中で、いつ観るのか(ボールの転がっている間や、味方がドリブルしている間など)、もちろん何を観るのか(ゴール、味方、相手、スペース、変化など)もしっかりと伝えていく。
- その中で、いつ、どこへポジションをとるのが理解できていくものとする。
- これが出来てきて、スペースを空けておいて、強く動いてマークをはがしてボールを受ける事が可能になる。おそらく強く動いて受ける事がゲーム中どのような場面で必要なのか理解できていない選手が大多数ではないだろうか。



黄色チームは手前方向に攻撃しています。  
ボールホルダーも、前線の選手もゴールを観ていない、観られるポジションを取っていない、ボールしか観られない身体の向きとなっている。  
よってオフサイドポジションにいても気づかない。



突破を狙いながら、拡がりのあるポジションを意識する。  
ボールホルダーも複数の選択肢を持つ。



右サイドの選手へのパスコースしかない。他の選手はボールのみを観て、ボールホルダーの選択肢になっていない。  
また守備者もボールしかみていないために簡単に裏を取られてしまう。  
(攻守共に少ない選択肢の中でのサッカーになっている)